

平成29年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目

教授

久保田 耕司

取組状況	
教育	<p>2年生の数学である「微分積分」、「線形代数Ⅰ」の教材の作成を行った。 1回毎の学習テーマを明確にした解説プリントと基礎的なものから発展的なものとなるように問題の難易度を精査して配置した演習プリントを作成した。また、編入学の問題を多く取り入れることにより学生の学習への意欲が高まるように意図した。 年度末には2年の微積分を出題範囲として学習到達度の試験を行い、学生の到達度の確認を行った。 これにより次のような学習効果が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各プリントのテーマが明確であることから、各授業の学習目的が分かりやすい。 ・基礎的な問題から発展的な問題まで学生の習熟度に応じた学習ができる。 演習の進み具合により学生の理解度が明瞭に分かり、机間巡視などの際に個別の学生に適切な指導が可能になる。 ・学んだ内容を学生が必要に応じて参照、復習することが容易である。 ・編入学を考えている学生の学習への目的意識が向上した。
研究	<p>入学時に数学の基礎学力テストおよび数学の学習に対するアンケートを行った。 これにより、次の結果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学倍率の上昇にともない基礎学力テストの点数も多少の上昇が見られた。 ・基礎学力テストの結果を授業担当に伝えることにより、入学生に適した授業展開のための資料となった。 ・アンケートにより入学生の英語と数学の学習などに対する意識の変化を捉えることができた。 <p>今年度の入学生は数学への興味は過年度と変わらないが英語に対する苦手意識をもつ学生が多少増えている。進路として進学を希望する学生が増えている。</p>
社会貢献	<p>吹奏楽部の顧問として演奏会などを通して近隣との親睦を図っている。 定期演奏会のお知らせを区役所の許可を得て近隣の掲示板に掲示し地域との融和を図った。</p>